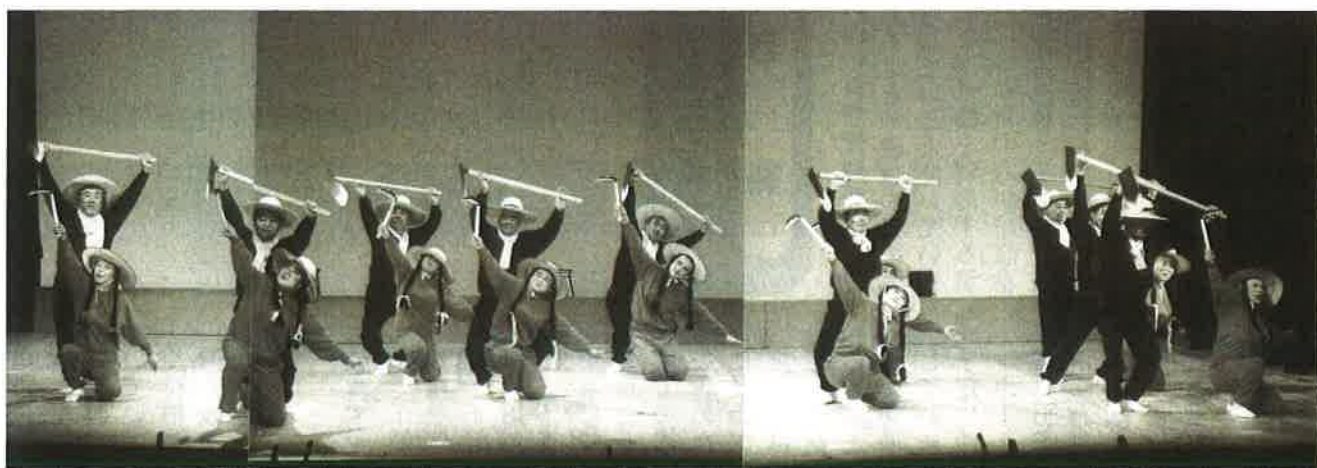


津久見市議会だより

平成18年
12月定例会 No.15



編集発行/大分県津久見市議会(〒879-2435)☎0972-82-9518



歳末たすけあいチャリティーショー 議員による名演技

《主な内容》

- 一般質問……………2～7
- 花の寄贈……………3
- チャリティーショー…7
- 委員会等の活動…8
- 編集後記……………8

平成18年第4回市議会定例会は12月5日(火)から12月22日(金)までの18日間の会期で行われました。

市長提出議案は、報告1件、条例の一部改正7件、予算の補正8件、計画の変更1件、県後期高齢者医療広域連合の設置1件、財産の取得1件、その他3件、意見書案1件、請願1件でした。

意見書案については修正可決、請願は賛成少数により不採択されました。その他いずれも可決されました。

一般質問

9議員が登壇 傍聴者延べ49名

第4回定例会の一般質問は、12月12日(火)、13日(水)に行われ、定数18名中9名の議員が市政全般について一般質問をしました。

なお、紙面の都合により全てを載せられませんのでご理解下さい。

市民サービスの向上について

上野 寛

問 自動交付機の設置に向けた取組みについてお伺いします。

答 自動交付機を設置している他市にメリットやデメリットについて問い合わせをした結果、自動交付機を設置することにより、急を要する印鑑証明や住民票が受付窓口の時間外でも利用できる大きなメリットがあります。一方、デメリットとしては、交付機設置場所、環境整備費、年間の維持

費、機器の保守管理費に経費がかかることや職員の対応等に苦慮していると聞いています。また交付機を利用する場合、特に高齢者の方が暗証番号や使用方法等その都度職員が対応に追われているようです。その他、湿度の変化により紙のつまり、印鑑証明の印字がにじんだことにより、ある市は損害賠償寸前までいったという報告も受けています。現在、佐伯市、臼杵市、豊後高

田市の3市が自動交付機を設置していますが、廃止の方向で検討している市もあると聞いています。従いまして、自動交付機の設置については、行財政改革の中、今後とも慎重に検討していきたいと考えています。

公共下水道事業について

問 千怒旭町地区への今後の取組みについてお伺いします。

答 千怒旭町地区については、平成18年2月に全戸数を対象に、受益者負担金や事業実施計画について説明会を実施しました。その中で、現認可区域

内での未整備地域は旭町地区を含めた千怒地区の一部だけになっていくことから、19年度以降は重点的に整備を進めて行きたいと説明し、関係者の理解と熱意を感じ、充分に事業効果が期待できると確信しています。今後の事業実施予定については、18年度はマンホールポンプの設置、19年度は旧お楽しみ農園までの配水管布設工事等、また20年度以降は、関係者の声を聞きながら、迅速かつ計画的に事業を推進して行きたいと考えています。17年度末の整備率は、全体で約78パーセント、千怒地区では57パーセントとなつ

ており、旭町地区の整備が済めば約85パーセントになります。円滑に事業が推進できるよう、今後とも関係者と充分意思疎通を図りながら、また説明会等の開催についても臨機応変に対応して地域住民への周知徹底に努めたいと考えています。

地方自治法の改正については、紙面の都合で省略します。

小中学校のつぐめについて

小手川 洋邦

問 小中学校のいじめについて

答 (1) 実態調査は行ないましたか。(2) 状況はどうなっていますか。

答 毎年行われる「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の一つとして実施し、文部科学省に報告していますが、今年度は、いじめの問題に関する実態把握のための緊急調査を文部科学省から通告を受け、各学校が

実施しました。昨年度の調査結果でのいじめの状況は、中学校1校で1件となっていました。今年度の調査結果では、中学校4校で56件発生し、うち指導中のものが24件となっていました。中学校は2校で27件発生し、うち指導中のものが6件となっています。昨年度に比べて、大幅に増加したのは全校児童生徒を対象としたアンケートの実施や個人面談



他市で導入されている自動交付機コーナー

保護者との面談等の調査を行なった結果だと思えます。

問 これまでと今後の対応は。
答 毎月開催される校長会や教頭会で、いじめ問題をはじめとする諸問題について、早期発見に努め、教職員間での情報交換や保護者との連携を取りながら指導するよう指導しており、また、いじめ問題の根絶に向けた市独自の通知文等で指導の徹底を呼びかけています。さらに市教委独自の適応指導教室の相談員、生徒指導推進協力員、県から派遣されているスクールカウンセラーの先生方が諸問題に対処しています。今後の

いじめの未然防止、いじめの早期発見、早期対応については、学校訪問で生の声を聞いたり調査を行うなどして実態把握を行い、素早く指導できる体制づくりを構築していきたいと考えています。



平成19年度予算編成にあたって

西村 徳丸

問 国の三位一体の改革による地方交付税の削減等で津久見市は厳しい財政運営を強いられています。好景気といわれていますが津久見市ではそ

の実感がわきません。市長は「元気のある津久見市、活力あるまちづくり」のため、どのような予算編成方針をもってのぞむのかお尋ねします。

答 厳しい財政状況の中で平成16年10月より緊急行財政改革に取り組んでおり、これまでに改善計画を上回る実績をあげることができました。

しかしながら、平成19年度の予算編成においても、国の財政改革の詳細も不透明な状況の中、将来にわたる持続可能な財政構造を構築するためには、より厳しい歳入、歳出の見直しを行ないながら、行財政改革を着実に実行し、「元気ある津久見市、活力あるまちづくり」の実現に向けて努力していきたいと考えています。

具体的には、市税などの徴収強化をはじめ、これまで以上の歳入確保対策に努めるとともに、歳出においても、人件費の削減をはじめ、民間活力導入に向けての公共施設や事務事業等の見直しを進め、財政体質の健全化を図っていかなければと考えています。

平成19年度には港湾埋立地に核となる商業施設が完成し、牛ヶ浦埋立地の販売も既に始まっています。平成19年度に完成予定の農免農道等の道路網や学校施設等の整備、簡易水道の統合、区画整理、下水道の整備等、市民生活に密着した事業や住環境の整備をはじめ、保健福祉、少子高齢化対策

などに力を入れながら、併せて水晶山跡地周辺の環境整備や一次産業、商業の活性化など、まちづくりや地域再生の取り組みについて着実に進めていきます。主役は市民ですから、厳しい財政状況ではありませんが、職員が市民の「やる気」をおこし前向きに新しい事業等に情熱をもって積極的に取り組めるよう努力します。

問 現在の津久見市は元気がないと思う。町づくりのために青江地区埋立地の有効活用が必要では？
答 有効活用のためには、

め市役所がアンテナをはり、市民に情報提供等のはたらきかけを行い市民と市役所が一体となって町づくりを行っていきたくと考えています。

その他、入学式、卒業式の国旗の掲揚と国歌の斉唱について質問しました。



12月定例会の議場には池坊翠の会の皆様から3回にわたり、お花の寄贈がありました。ありがとうございました。



質問する西村議員

鉱産税について

板井 王成

問 定率減税の全廃や老年者控除の廃止等によって増税となり、加えて医療費や介護保険料の増、そして行財政改革による各種料金の値上げなど市民の負担は増加するばかりです。厳しい時を乗り越えるのに市民だけが犠牲をこうむるのはおかしいと思います。市民と企業と市役所で一緒になつて乗り切るのが平等ではないですか。

答 津久見市では、3年毎に関係企業との協議により、課税するに当たっての課税標準額の算定のための単価を決定しております。

平成17年度の協議では、行財政改革の観点から、歳入確保の一環として単価の値上げを強くお願いしてきたところですが、結果として平成18年度からの3年間の単価は、今年3月に据置で決定しているところでした。

しかしながら、税制をはじめとした種々の制度の改正等で、個人個人の負担が増大していることや本会議あるいは委員会において議員の指摘もあ

りますので、改めて、単価値上げの要望をしていく所存です。

問 全国の市町村で鉱産税を津久見より多めに取っている所がありますか。

答 全国の石灰石の鉱産税がある市町村では津久見より高い所、低い所があります。各市町村ではそれぞれ独自の事情があると思いますが、単価では2000円が多く自治体で見受けられます。

問 多くの自治体であるのであれば、その中のひとりに津久見市が加わってもひとつもおかしくないと思います。

少なくとも平成9年から全然上がっていないわけですし市民の負担や税金がどれだけ上がったかは計算していませんが、「協力して下さい」と言うべきだと思えますし、市長も9月議会で企業の皆さんにお願いしたいと言っているのだから、具体的に今年度中に話を少しでも上げていただくように働きかけるべきではないですか。

答 昨年協議をお願いする時点の資料では、津久見と同じ

180円が大半だったので厳しかったのですが、新しい資料では2000円という鉱産税の単価の所もありますので何年毎とかに限りなく企業側に話しをしていきたいと思えます。

その他、路線バスについてと河川の整備について質問しました。



石灰石鉱山を望む風景

白杵市との合併について

川野 龍則

問 今年6月、合併協議の折、白杵市から作成依頼があった、白杵市方式のバランスシートは、いつできあがりますか。

答 10月末より総務課、合併推進課が共同で取り掛かり、現在作成中で、約50パーセントの達成であります。できあがるにはもう少し時間が必要ですが、白杵市との合併の協議を行うのに、少しでも早く作成を終了し、両市の財政比較をスムーズに行い、合併協議の場の設置に積極的に取り組みたい。

問 今後の合併協議について、合併新法が適用される期限内(平成22年3月末)の自主的な合併を目指す基本姿勢に変わりはない。今後、合併という課題から目を離さず、県や市議会、関係団体の方をはじめ、市民の皆様のご理解とご協力を得ながら、進めていきたいと考えます。

有料指定ごみ袋制度について
問 市内76箇所を実施した地区説明会の意見集約は、いかがでしたか。

答 現在までの取り組みは、各学校では、職員会議等で生徒についての情報交換を行い、教育相談の体制を整備して、家庭との連携を取ったり、スクールカウンセラーの活用等を行いました。また、いじめの未然防止の為、学級活動の時間や道徳の時間を使い、児童生徒の間に「いじめは絶対許さない」との意識付けを行いました。

問 「有料指定ごみ袋」の内容と「ごみの出し方、分け方」についての説明やお願いをしました。特に、ごみ袋の単価や色についての意見が多い。

問 指定ごみ袋の選定は、透明性・公平性の確保が必要ですが、どのように行いますか。

答 黄色系でカラス対策に効果のあるごみ袋を採用したい。選定に関して、透明性・公平性に細心の注意を払って事務作業を進めて行きたい。

いじめ問題について

問 見えない「いじめ」の実態調査の結果を教えてください。

答 今年の4月から10月までに発生したいじめについての実態調査を実施した結果、小学校56件(内24件指導中)、中学校27件(内6件指導中)がありました。

問 現在までの取り組みは、

各学校では、職員会議等で生徒についての情報交換を行い、教育相談の体制を整備して、家庭との連携を取ったり、スクールカウンセラーの活用等を行いました。また、いじめの未然防止の為、学級活動の時間や道徳の時間を使い、児童生徒の間に「いじめは絶対許さない」との意識付けを行いました。

問 今後、いじめを無くす為には、どうしますか。

答 教育委員会と学校との連携強化を図り、いじめ未然防止、早期発見・早期解決ができる指導体制作りを図る必要があります。

児童虐待について

清水美知子

問 子どもが虐待を受けて死亡する事件がおきています。市の現状は。

答 平成11年から平成16年度未までの相談件数は34件。身体的虐待15件、養育放棄が17件、性的虐待が1件、心理的虐待が1件となっています。

問 対応は。

答 実態把握と訪問指導、親子分離、児童相談所への一時保護、施設入所など行っています。「津久見市要保護児童対策地



畑地区から見た津久見の風景

域協議会」を設置し虐待児童だけでなく、保護や相談を必要とするすべての児童に対象範囲を拡大して①早期発見と早期通報を促すための連絡体制の整備と情報交換②要保護児童対策に関する研修③地域住民への広報・啓発④要保護児童の保護・支援などへの取り組みを進めています。

問 相談窓口の設置は。

答 子育て相談専用電話・子育てメール・家庭児童相談員

等による相談窓口を開設しています。

問 防災対策について

答 全地区の自主防災組織はいつでも機能できますか。

答 地域住民によりその実情に応じた自主的な防災組織が設けられ、日頃から大地震等災害が発生した場合を予想した訓練を繰り返し積み重ねておくことが重要です。消防団や自治会等関係者と協力して防災意識の向上や訓練の実施を図り、いつでも機能できるように努力していきたい。

問 災害時のトイレ問題について

答 トイレの確保は、すみやかに対応策を講じなければ、深刻な問題であることが、過去に発生した、地震の教訓で読み取ることができず。仮設トイレは女性用・男性用合わせて230基、身障者1基の確認が取れています。早いうちに協力の協定を締結したいと考えています。

問 小・中学校教室に扇風機の設置について

答 設置されている学校は、聖徳小学校2クラス、青江小学校14クラス、第二中学校6クラスです。扇風機の設置

などを検討していきたいと思えます。

問 メタボリック症候群について

答 市の取り組みは。

答 市では健康推進課と市民生活課がタイアップして国保ヘルスアップ事業を実施しています。住民健診のデータをもとに、保健師、栄養士、国保保健相談員の職員が個人経過表を用いて訪問指導を行っています。

大型スーパーの完成に期待

小谷 栄作

雇用の増加と中心市街地の活性化を願います。

問 建設中のマルシヨクの開店時期、新規雇用予定数、開店後の中央町も含めたイベントを津久見市が予定しているかお伺いします。

答 平成19年6月が開店予定となっていますが、県は周辺地域の生活環境の保持の見地から意見を聴くことになって



つくみん公園 小春日和のひととき

います。特に意見がなければ1カ月から2カ月の早期開店も可能とのこと。採用については、既存店舗の従業員を最優先し、全体のスタッフ数は300名程度を予定していますが、まだ確定していません。地元の方を100から150人くらい見ているとのこと。イベントについては意欲のある事業者が活性化に向け

てやるうというのであれば、市としても後押しを考えたいと思います。

問 国道千怒・日見トンネル、千怒越トンネル、久保泊トンネルの進捗状況は。

答 国道217号千怒・日見トンネルの完成は、平成21年3月となっておりますが、津久見市にとつては主要重点事業の一つであるため、早期完成に向け、県への要望活動を積極的に行っていきます。

千怒越、久保泊の両トンネル工事の今後についても、地域住民の利便性向上のため、一日も早い供用開始に向け積極的に働きかけて行きたいと思っております。

問 AED(自動体外式除細動器)の設置台数と設置場所を市民にどの程度周知していますか。

答 現在13台のAEDを公共施設に設置しています。(市報1月号に掲載)一部、設置場所の表示の補強が必要ではないかと考えられるので現地調査をして対応したいと思えます。

問 特別職の19年

度からの体制については。

答 市長の任期の範囲において、是非とも現在の三役の合議体制により進めていきたいと考えています。

問 休校、廃校の校舎等の取り扱いは。

答 校舎を取り壊し敷地を原形復旧後に所有者へ返還、借用地を市が現在のまま購入、敷地料を継続的に支払い続ける。校舎を取り壊さず、敷地を現状のまま、それを必要とする地縁団体又は第三者等に低廉な価格で譲渡すると4通りの考えられますが、今後は地域の活用の考え方などを聞いて協議を進めたいと思えます。



大型スーパーの完成へ着々進む工事

家庭「ゴミ」の有料「ゴミ袋制度」について 知念豊秀

問 基礎データに大きな間違いがあったことが判明しました。すでに市長自ら誤りを認めています。審議会を再度開催し基礎データの洗い出しから答申の見直し、市民に再度納得のいく説明会を開くこともせず、そのまま条例改定案が提出されています。

圧倒的多数の市民は反対しています。「有料化しない、ゴミの減量化」を真剣に考えるべきではありませんか。

答 有料化は津久見市だけの問題ではなく国も「地球環境の維持改善のために持続的な循環型社会の構築を必要とし、その一端として排出量に際した公平性や、環境問題について住民に意識をもちょううため、ごみ処理の有料化の推進を図るべきである」という方針を出している。また、他市町村の動向を見ても避けて通れないと考えます。

問 公立保育所民営化について

「まず民営化ありき」の方針は間違いではないか、また公立保育所の役割は重大です。

なぜ存続できないのでしょうか。ところで横浜地裁で「横浜市立保育園民営化は違法である」との判決をどのように受けておられるでしょうか。

答 国の政策の大きな転換の中で、公立のまま保育所を維持することが非常に困難な状況になっていきます。市としては廃止ではなく、横浜地裁の判決を踏まえ「民営化ガイドライン策定委員会」を設置、保護者の声を充分反映した答申を受けて、民営化の方針を出しました。

問 ジェネリック医薬品について津久見市での使用割合はどのくらいですか。

答 医療機関に確認しましたところ、把握されておりません。

問 市民の側から積極的なアプローチができるように行政指導できないでしょうか。

答 ジェネリック



ドリームフューエルセンター

医薬品を使うには医師の処方が必要。気軽に相談できる「かかりつけホームドクター」を持つことが重要だと考えています。

問 長目方面に福祉バスを運行してはどうか。

答 現状では、乗り合いバスが津久見駅から楠屋間を午前中に2便、午後2便運行されていることや、本バス路線維持のため、福祉バスの運行は困難と考えます。

問 岩屋口市営住宅内の公園の砂の入れ替えをして欲しいと要望がありますが。

答 衛生面、管理体制を含め住民と話し合っ行って行きたいと考えております。

行財政改革について

高野 幹也

問 平成16年10月の「緊急行財政改革実行計画」策定後から今回まで、その取り組みと成果について。

答 平成16年度では歳入面で、市税等徴収の強化や市有地の販売等を積極的に行い、また歳出面では、乳幼児医療費や高齢化等による扶助費の伸びはありましたが、職員数の削減や給与等の減額、事務事業の見直しに努めてきたことにより、改善目標額より、約1億9300万円上積みすることができました。

平成17年度では歳入面で、滞納繰越分の徴収強化や市役所予定地の売却を行い、また歳出面では、児童福祉費やへき地診療所整備費の増はありましたが、職員給与等の減額などにより、改善目標額より、約1300万円上積みすることができました。



行財政改革真っ最中の市役所

問 「緊急行財政改革実行計画」の進行管理については、外部的には「緊急行財政改革推進委員会」で行うとありますがその取り組み状況は。

答 平成16年6月に「緊急行財政改革推進委員会」を設置し、実行計画の策定からその後の進行管理を行ってきました。しかし、任期が2年間でしたので、今後については検討していきます。



正月に久方ぶりに帰ってきたマグロ船群



また、議会には「市町村合併調査特別委員会」の中で、今まで通り報告していきます。現在の「緊急行財政改革実行計画」は平成20年度までしか、収支の試算が示されていません。平成21年度以降については。

答 収支の試算については、国の動向により大きく左右されるので、非常に難しい面はありますが、今後検討していきます。

委員会等の活動

総務委員会

委員長 川野龍則

◆12月14日に委員会を開会し、付託された議案6件について審査を行いました。

・津久見市消防団等公務災害補償条例の一部改正について

・平成18年度国民健康保険事業特別会計予算の補正については、基金国保税について質疑があり、17年度末の基金残高は約2億8千7百万円、医療費抑制に努力しているが、今年度も約1億円程度取り崩さなければならぬ厳しい状況である。国保税については、国保税、介護保険料の現状、さらに20年度から始まる後期高齢者医療制度の保険料も国保税から拠出するため、20年度以降に見直しを検討しなければならぬと答弁がありました。

・平成18年度老人保健事業特別会計予算の補正について

・津久見市過疎地域自立促進計画の変更については、事業内容及び白杵市の事業費負担について質疑があり、楠屋から泊ヶ内間の総延長2140メートル、道路の幅員5メートル、事業費については、白杵市と折半との答弁がありました。

・大分県後期高齢者医療広域連合の設置について
・財産の取得については購入後の土地利用について質疑があり、市役所予定地については、仮に合併するにしても津久見に住民の窓口を置かなければならないと思うので、何らかの施設は造りたい。ただそれを市が造るか、民活で造るかについては検討課題であるとの答弁がありました。
以上、審査の結果、全員異議なく可決すべきものと決しました。

建設経済 委員会

委員長 小谷 栄作

◆12月14日に委員会を開会し、付託された議案11件について審査を行いました。

- ・津久見市簡易水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
- ・津久見市簡易水道事業給水条例の一部改正について
- ・津久見市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
- ・平成18年度津久見都市計画土地区画整理事業特別会計予算の補正について
- ・平成18年度簡易水道布設事業特別会計予算の補正について
- ・平成18年度公共下水道事業特別会計予算の補正について
- ・区域内にあらたに生じた土地の確認と、その字の区域編入については、現地を視察し、現状を十分に把握して審査を行いました。
- ・字の区域の変更についても現地を視察し、現状を

社会文教 委員会

委員長 高野 幹也

◆12月14日に委員会を開会し、付託された議案について審査を行いました。

- ・津久見市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正についてはゴミ袋有料化は、市民に負担をかけ、有料化する理由がはつきりしないとの反対意見と行財政改革、ゴミの減量、ドリームフューエルセンターの延命、地球環境への取り組み等、総合的な観点から有料化は妥当ではないかとの賛成意見がありましたので、挙手による採択を行った結果、賛成多数により原案どおり可決すべきものと決しました。
- ・平成18年度介護保険事業特別会計予算の補正については、制度の改正により市民サービスが低下

十分把握しました。以上、審査を行った結果、全員異議なく可決すべきものと決しました。

予算特別 委員会

委員長 岩崎 蒐

◆12月15日に委員会を開会し、付託された議案について審査を行いました。

- ・今回の補正について、「有料ごみ袋制度導入に対する市民の負担は大きいものがある」と一部反対討論がありました。採決の結果賛成多数を以て可決すべきものと決しました。

◆決算特別委員会もさる11月14日に岩崎委員長のものと開会され、平成17年度の各決算書にもとづき審査を行った結果、一部委員より反対討論があったものの挙手により賛成多数で採決すべきものと決したことこの報告を受けました。



編集後記

『世界8番目の不思議 : ナス力展』へ先日、行って来ました。壮大な平原に広がる地上絵、その文明に、遙か昔の古代人の息吹きを感じ、人類の原点、自分の原点に立ち戻った気分になりました。私達、津久見市議会も12月定例議会を終え、今任期中は、3月定例議会を残すのみとなりました。次世代へ、私達の故郷・津久見市を、どう引き継いでいくべきか。市民中心のより良い市政であるべく、最後の集大成に取り組んで参ります。今後とも、市民の皆様方のご意見・ご指導を承わり、市議会の役目を果たしてまいりますので、よろしくお願い致します。

